

登壇者略歴

細川 豊史 氏

特定非営利活動法人日本緩和医療学会 理事長
京都府立医科大学 疼痛緩和医療学講座 病院教授

1981年京都府立医科大学医学部医学科卒業、91年京都府立医科大学医学部助教授、同年ドイツ連邦共和国デュッセルドルフ大学へ留学（文部省在外研究員）。2005年京都府立医科大学附属病院疼痛緩和医療部 部長、06年同病院教授。10年同大学疼痛緩和医療学講座 教授（学内）、12年より現職。日本緩和医療学会、日本ペインクリニック学会、日本疼痛学会などの理事、日本医学会評議員、厚生労働省緩和ケア推進検討会構成員などを歴任。



加藤 雅志 氏

特定非営利活動法人日本緩和医療学会 委託事業委員長
国立がん研究センターがん対策情報センター
がん医療支援研究部長
中央病院 相談支援センター長／精神腫瘍科

1999年慶應義塾大学医学部卒業後、独立型ホスピスであるピースハウス病院に非常勤にて勤務。その後、埼玉県立精神医療センター及び埼玉県立がんセンターを経て、2006年厚生労働省がん対策推進室に勤務。緩和ケアやがん診療連携拠点病院制度などを担当。09年、国立がんセンターに移り、精神腫瘍科の臨床に取り組むとともに、相談支援センター長も務めている。日本緩和医療学会理事、日本サイコオンコロジー学会理事。



座長 木澤 義之 氏

特定非営利活動法人日本緩和医療学会 副理事長
神戸大学大学院 医学系研究科内科学講座
先端緩和医療学講座 特任教授

1991年筑波大学医学専門学群卒業後、94年筑波大学総合医コースレジデント、97年国立がんセンター東病院研修医（緩和ケア病棟）などを経て2000年筑波メディカルセンター病院診療科長（総合診療科）、緩和ケア病棟担当。03年筑波大学臨床医学系講師、筑波大学附属病院医療福祉支援センター副センター長、05年同大学附属病院緩和ケアセンター副センター長、13年3月より現職。日本緩和医療学会委託事業委員会緩和ケア研修WPG員長、厚生労働省緩和ケア推進検討委員会委員など歴任。12年特定非営利活動法人日本緩和医療学会副理事長。



濱 卓至 氏

大阪府立病院機構大阪府立成人病センター
心療・緩和科副部長

1996年和歌山県立医科大学卒業、2001年和歌山県立医科大学大学院医学研究科（外科系）修了。国立大阪南病院外科医員、和歌山県立医科大学附属病院第2外科および救急・集中治療部助手を経て、07年国立病院機構大阪南医療センター外科・緩和ケアチームリーダー、08年同外科（緩和医療）医長兼緩和ケア推進室長。11年大阪府立病院機構大阪府立成人病センター心療・緩和科医長兼緩和ケアチーム専従医、12年より現職。専門は緩和医療、がん患者の栄養管理。12年より日本緩和医療学会理事。緩和ケア普及啓発WPG員長。大阪府がん診療連携協議会緩和ケア部会長。



上村 恵一 氏

市立札幌病院 精神医療センター 副医長

2001年旭川医科大学医学部医学科卒業後、北海道大学医学部附属病院 精神神経科、02年独立行政法人国立病院機構札幌病院北海道がんセンターを経て、03年市立札幌病院 精神神経科。06年KKR札幌医療センター緩和ケア病棟 非常勤医師を歴任。11年より現職。日本サイコオンコロジー学会（理事、代議員、あり方委員会委員）、日本緩和医療学会（委託事業委員会緩和ケア研修WPG）、日本精神神経学会（指導医・専門医）、日本総合病院精神医学会（がん対策委員）、日本臨床精神神経薬理学会（専門医）。



大野 由美子 氏

大阪大学医学部附属病院 オンコロジーセンター
がん看護専門看護師

1989年大阪大学医療技術短期大学を卒業後、大阪大学医学部附属病院勤務。一旦臨床を離れ、2001年に大阪府立大学大学院看護学研究科修士課程を修了、03年がん看護専門看護師の認定を受け、再び同大学病院へ。04年よりオンコロジーセンター緩和ケアチームで専従看護師として勤務。がん患者さん・ご家族がその人らしい生き方を実現できるよう、医療チームの調整やスタッフの相談に主に携わっている。



塩川 満 氏

総合病院聖隷浜松病院 薬剤部長

1989年東邦大学薬学部卒業後、東邦大学医学部付属大森病院薬剤部に勤務。1996年聖路加国際病院薬剤部を経て、2011年より聖隷浜松病院薬剤部部長、聖隷クリストファー大学臨床教授。聖路加国際病院では緩和ケア病棟立ち上げから関与し、緩和ケアチーム薬剤師として活動。日本緩和医療学会理事、将来計画委員会委員長として薬剤師教育プログラム（people）を運営。日本緩和医療学会理事、総務財務委員会副委員長、緩和ケア普及啓発委員。



橘 直子 氏

総合病院山口赤十字病院
医療社会事業部 医療社会事業係長

1995年川崎医療福祉大学 医療福祉学部医療福祉学科卒業後、医療法人仁保病院 精神科ソーシャルワーカーを経て、96年総合病院山口赤十字病院医療ソーシャルワーカー、現在に至る。国立がん研究センターがん対策情報センター 相談支援センターがん専門相談員研修専門家パネル委員、日本緩和医療学会 緩和ケア普及啓発WPG、日本ホスピス・緩和ケア協会 教育支援委員、日本医療社会福祉協会 調査研究部会 がん・緩和ケアチームなど。

